



ふれあいで お年寄りを独りにさせぬ町に

●上島町は高齢者の割合が多く、独居老人は「人と人」のコミュニケーションが取りにくい。こういう情況を解決するためにテレビ電話を設置する。



資料：上島町GATV基本計画書（平成17年6月）上川

ふれあいと助け合い
安心と感謝の町に

一方通行の告知端末器

我が町は昨年中に町内全域で光ケーブルの敷設を完了し、高速情報通信基盤が整つた。また町内全域の公共下水道の埋設もおわり各家庭のつなぎこみも完了に近づいている。

様々なインフラ（社会基盤）が整備されても、最後はそれをいかに運営するかが勝負の分かれ道。

ところで思い出して欲しい。全町に光ケーブルを敷設し町内全域をネットワーク化する計画が示されたとき、行政側の説明では端末器を通じての双方向通信が出来るので、例えば高齢者の安否確認、例えば遠隔診察など、そうあつたらしいなあとい

下水道の使用料金を上げようとする動きが活発である。行政は検討委員会を設置、何度も会議を実施している。漏れ聞くところによれば、たとえ委員会の意見書が提出されたとしても、それは参考にするだけだと町長は述べた。そうだ。普通なら意見を尊重すると言うだろう。では何のために経費をかけ何度も協議を重ねる必要があるのか。

委員の中には8名の議員つまり議員の半数が加わっているといふのにその言に何も感じないのか。町長もおごつているが言わせ放しの委員も情けない。

公共料金値上げは 最後の手段

商品券の2回にわたる町の負担額は1200万円。町内限定のこの商品券、1割引きで物が購入できる。その割引額を町が負担するというのだから商工振興課に名を借りたばらまき、百歩譲りでも橋の開通記念に2回はやりすぎだ。

おかしな政策オンパレード

あるいは既に予算が付いている石山開発調査費450万円。あの石灰石採取後の残土、砂礫でできた山に施設でも創ろうというのなら、基礎工事だけでも膨大な費用がかかるだろう。それは旧町時代、ゴルフ場開発騒ぎの頃調査済みだ。へたに山を

何かと言えば町財政の悪化を
言うのが行政だが、加えて一般
市民は財政のことなど本気で気
にもしていないのだろう。

つつけば、ゲリラ豪雨が多発している昨今、大きな土砂崩れを誘発しかねない。山に登りたければ多くの人が踏み固めた道をゆっくり登つて景色を楽しめばいい。三十分もあれば上にたどり着く。クルマなんかで登らうなんてストップライフ時代逆行する愚作とか思えない。

あるいは公営生名渡船に週一日だけ投入する民間会社・弓削汽船青丸の運行予算が5千万円なぜわざわざそんな事をする必要があるのかすら議会では大きな問題にならない。どうなつて

いう事もあるのだ。年を取つ、
舟持つが、東風が吹いたら雨
あの山が見えなくなつても雨
と教えてくれた。テレビを見

いるんだ町議会！と切歎するの
は筆者だけなのだろうか？

易々とさせはならぬ

この下水道料金（システム的
には上水道料金）値上げの動き
は、あらゆる経費のムダを精査
をし、なおかつ如何ともしがた
く、という風にはどうしても思
えない。

公共料金は広く町民の生活に
密着する支出。たとえ赤字でも
必要悪だ。かたやばらまき、か
たや値上げでは、話の筋が通る
まい。一体この町はどうなつて
ゆくのだろう。（平山和昭）

あ、そうそう、例のテレビの始
末ね。土に埋めるとどこかの高
速鉄道のばくりだし、いやはや
困つたもんだワ。

う話で町民の理解を求めた。

みそな環境になつてしまつた
高いお金をかけたケーブルは能
力のごく一部しか使わないまま
過ぎてしまうのだろうか。

きどぐち（十五）

より雲を、風を観ろだ！
こんな悪態をついている私も
エコポイント終了後に、ついに
居間のテレビを買い換えた。

青木喜代子



地域を創造するNPO 頼れるふるさとネット通信

2011.8.15 No.2

発行者 特定非営利活動法人頼れるふるさとネット
☎&Fax 0897-77-3072 (事務局・平山)
090-8247-5279 (携帯電話・平山)
0897-72-9188 (事務所/やよみ事)
〒794-2506 愛媛県越智郡上島町下弓削515
メール k-jitikenkyuukai@amber.plala.or.jp

特定非営利活動法人(NPO)「頼れるふるさとネット」は平成23年4月26日法人登記されました。頼れるふるさとの構築を目指して活動をしています。

残暑お見舞い申し上げます。

理事長 平山和昭

●NPO法人「頼れるふるさとネット」では頼れるふるさとづくりを目指して活動して下さるスタッフを募集しています。
「人材育成」「高齢者支援」「移住促進」などこの町に合った仕組み作り、あるいは町内事情の調査や活動拠点(やよみ事)で出来る小イベント(食文化交流、創作活動交流など)の企画催行、広報活動管理などです。
●報酬等については社内規則有。年齢不問。お気軽にどうぞ。

人間、縁無くしてその地を踏みます。その地を訪れるからにはきっと何か訳があるはず。。。インターネット(ツイッター)を通じて知り合ったメンバーが弓削島にあるNPO法人の活動拠点「やよみ亭」に集結した七月一日早朝、私は三原市内からしまなみ海道を走りフェリーに乗船し弓削島を目指しました。そこは、自宅から二時間で到着するのに今まで一度も訪れたこどものなかつた場所。。。といたかく出迎えて下さった皆さまの笑顔と潮風、浜から流れの波の音に身をゆだね、ゆるり島時間に浸つていると、全てのわだかまりから解放されたありのままの私がそこに居ることに気づき、一瞬不思議な感覚を覚えました。

弓削島にいるNPO法人の活動拠点「やよみ亭」に集結した七月一日早朝、私は三原市内からしまなみ海道を走りフェリーに乗船し弓削島を目指しました。そこは、自宅から二時間で到着するのに今まで一度も訪れたこどものなかつた場所。。。といたかく出迎えて下さった皆さまの笑顔と潮風、浜から流れの波の音に身をゆだね、ゆるり島時間に浸つていると、全てのわだかまりから解放されたありのままの私がそこに居ることに気づき、一瞬不思議な感覚を覚えました。

三原市 濑川亜希

弓削島日記

日本人は働き過ぎである」と以前から感じていたのですが、働かなければ生活できない現状に多くの方がストレスを抱えています。ストレス解消法は様々ですが、疲れた心には休息が一番だと、この島の風が教えてくれました。

島民の方に「この島の名所はどこですか」と尋ねると「島地蔵以外何もねえ」との返答。本当にそうなのでしょうか?!翌日早朝、海から昇る弓削の浜辺で見た幻想的な朝やけ風景は、何か始まりを予感させるかのように、美しい輝きでした。自分らしく生きること。。。浜辺では一番難しい生き方なのか会では、も知れませんね。でも、この島はあなたたかく迎え、背中をポンと押してくれますから!!

おわり

地域に興味持とうよ私!皆さんはどうくらい自分の地域のことをご存知?

庭を見ながらそんなことをぼんやり考えている間に、叔母達は次なる目的を定めたようである。裏に行くと少しの田んぼと畑がある。田んぼは山に近く引く水は山からのもの。だから米はとにかく美味しい。ガス釜で炊けば尚のこと美味しいはず。父が母を心配してガス釜はないのが残念である。父や母や叔母達がいなくなったら、この田畠や庭木達はどうしたら良いのだろう。兄妹3人ある意味、期待を裏切らないだろう。島に行く前に予行練習が出来るとは思ってもみなかった。晴明を見習い修行しますか…。

やよみ亭文化講座

GOEMON
わかす ごえもんぶろ
はいる 五右衛門風呂
を体験しませんか

■毎週土曜日(予約制)
Aコース: わかじてはいる体験
Bコース: はいるだけの体験

■バスタオルはご持参ください
■体験費(A・Bコース共通)

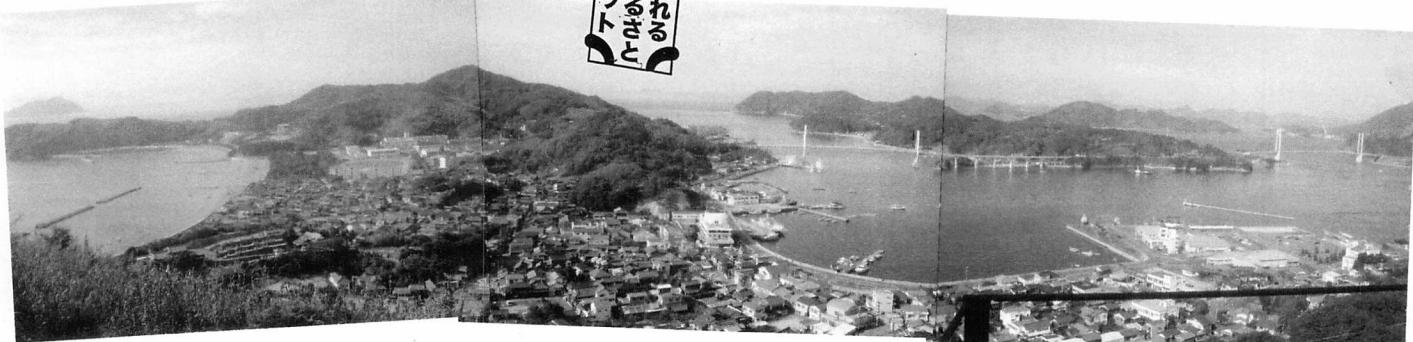
一人 300円
一グループ 7,000円(5人ぐらひまで)
(いずれも認上がりワンドリンク付)

(都合が付けば土曜日以外でも受け付ます)



●日時 8月15日(月) →
●午後7時開始
●木戸鉄なし。カンパ歓迎
テーマ: 上関原発建設反対に
30年取り組んでいる祝島の住民

やよみ事 でんわ 0897-72-9188



弓削島石山より向かって左から松原海水浴場、離島体験交流施設、商船高専、弓削大橋、佐島(奥が赤穂根島)、生名橋(奥が岩城島)、生名島を望む。

受け継ぐこと

安藤朋生 茨城県

母方の叔母達はとても働き者。止まっている時をあまり見たことがない。定年退職を向かえ、のんびり過ごすぞ~!と毎日庭の手入れをしている。毎日毎日庭をいじっているうちにやることがなくなってしまったらしく、最近では我が家に来て庭の手入れをしている。暇を持て余しているのが勿体ないらしい。

我が家の庭など猫の額くらいなものだし、家業は石材とあって庭のど真ん中にはいつも石が山積み。そこに適当にプランタ

ーでサボテンや野バラ、クレマチスが頑張って生きている。剪定してやることもなく生き生きと石の間から群生している葉を見ていると、小説で読む安倍晴明の庭を思い出す。本当かどうか分からぬけど、小説の中の晴明宅はそれはそれは荒れた庭なんだとか。

晴明と言えば、我が家からほどなくの所に安倍晴明ゆかりの地と題した看板がたっている。本当なのか?と疑いつつ検索。まさか自宅の近所に晴明にまつわる神事が執り行われているとは予想打にしていなかった。知る人ぞ知ることなのがどうなのか、とにもかくに

も自分の住む地域のことに本当に疎い私が島を語って良いものなのか、段々腹立たしくなってきた。どうしてくれよう。

茨城県筑西市で生まれた晴明は幼い頃から神童と呼ばれ、その後都に上がり本格的に陰陽師

の修行に取り組んだと記述がある。神童と呼ばれた晴明でさえ修行に取り組み、その才能を更に

高め陰陽道としての地位を確立したともある。

凄いじやん茨城!納豆だけじゃなかったじやん。

しかし県民食である納豆が食べられない私。茨城との接点が無さ過ぎである。もっと自分の

